

#### R2.7.14 株式会社 G-POWER Earth

### G-POWER FX 耐候促進試験 1,000時間（100時間+400時間+500時間）試験結果

#### 1. 試験方法

(1)キセノンアーク灯式促進耐候性試験にて、サンプルの試験前と試験後を目視し変化を確認する。ただし、この試験は100時間後、500時間後に一度目視による途中経過の確認を行い、再度同サンプルを500時間試験し目視による確認を行ったものである。

(2)通常のキセノンアーク灯式促進耐候性試験での目視による確認の他に撥水性を維持しているかの確認も行う。確認方法は試験後のサンプルに水滴を垂らし、撥水効果を保持しているか目視により確認する。

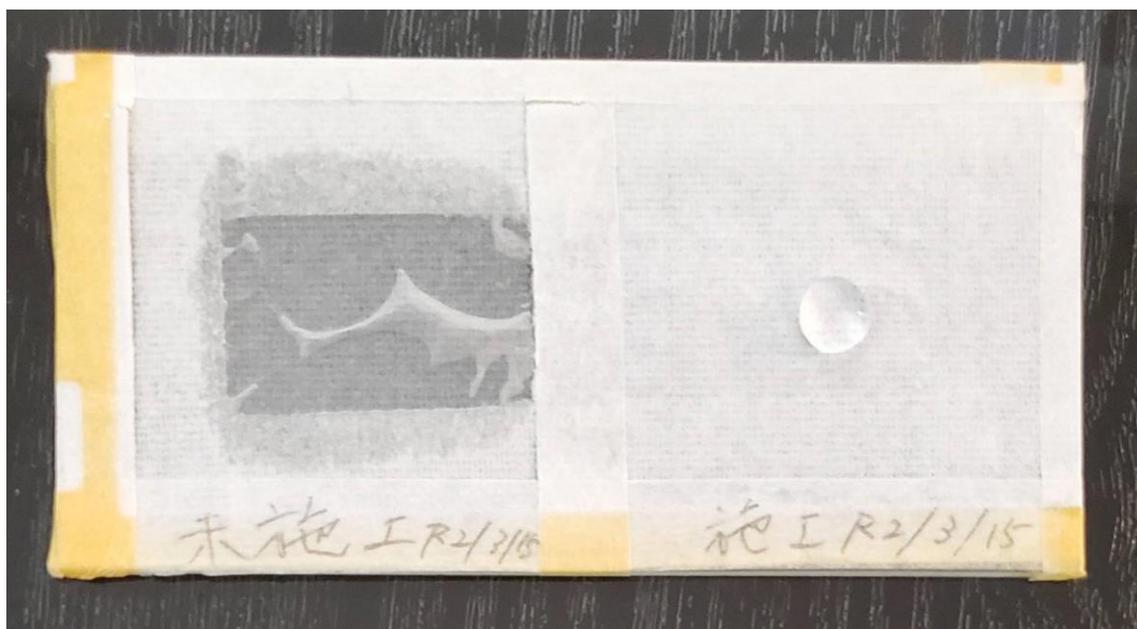
#### 2. 試験サンプル

試験サンプルは、縦52mm、横102mmのガラス板に半紙を張り付け半分を施工したものを用意し試験を行った。（施工日 R2.3.15）

#### 3. 結果（1,000時間後）

(1)目視による確認では施工前の半紙は右端の接着部に破れが確認出来るが、施工後の半紙は特に変化が見られない。

(2)水滴を垂らし目視による確認では、高い精度で撥水効果を維持していた。



#### 1,000時間（100時間+400時間+500時間）後サンプル